

カメラがとらえた2015年の観光



旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」が東京ビッグサイトで開催。目標を上回る17万3000人を集める(9月30日付)



日中観光文化交流団の31人が訪中。人民大会堂では「交流大会」が開かれ、名誉団長の二階俊博衆議院議員と中国の習近平国家主席が握手(5月30日付)

新幹線開業、世界遺産登録、インバウンド 国内観光の振興へさまざまな追い風吹く



鳥取県が国の交付金を活用して発売したプレミアム宿泊券。1万4000枚が販売開始後4分で完売(4月11日付)



北陸新幹線が開業。石川県、富山県など沿線では開業を記念するセレモニーやイベントが開かれる(3月21日付)



「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録が決定。関係自治体、観光関係者は悲願達成に歓声、万歳(7月11日付)



日本旅館協会が東京都内で総会。財務の改善、クレジットカード手数料率の低減化など、これまでの取り組みの成果を報告した(6月27日付)



全旅連が佐賀県で全国大会。新会長に就任した北原茂樹氏が「働く人が誇りを持つ業界づくりに取り組む」と所信(6月13日付)

「民泊問題」で規制緩和反対 旅館・ホテル業界が意見



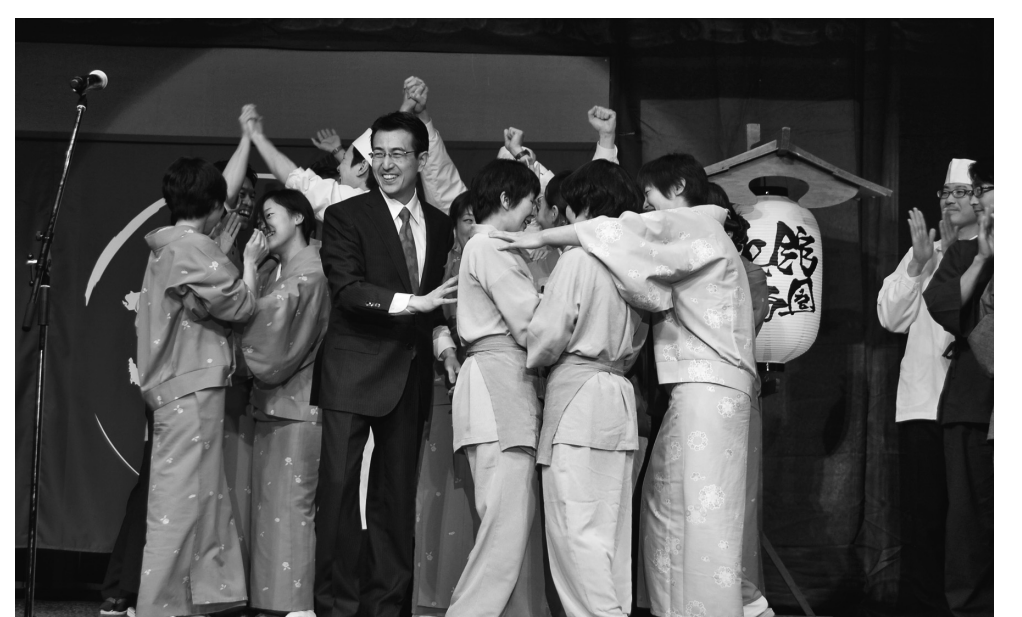
旅館の生産性向上に向けて、日本旅館協会がモデル事業をスタート。公募で選んだ8軒について課題を抽出し、改善の方策を探る(10月10日付)



一般の住宅に旅行者を泊める「民泊」。全旅連、日本旅館協会は規制緩和に反対の姿勢。両団体のトップらは自民党観光立国調査会に出席、意見を述べる(11月14日付)



噴火騒動で風評被害を受ける箱根町への観光客誘致を目的に、JTBと小田急トラベルが共同で販促キャラバン(8月22日付)



全旅連青年部主催の第2回「旅館甲子園」で、長野県渋温泉の春蘭の宿さかえやが最高賞のグランプリを獲得(2月28日付)